

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-189789

(43) Dat of publication of application : 05.07.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60
G07G 1/12

(21)Application number : 2000-388936

(71)Applicant : DENSO CORP

(22)Date of filing : 21.12.2000

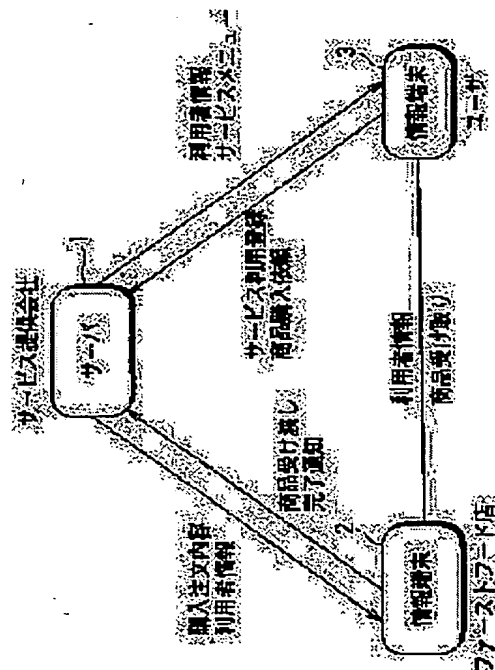
(72)Inventor : ENOMOTO TAKAHIRO

(54) MERCHANDISE SELLING METHOD UTILIZING DRIVE-THROUGH

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To vastly reduce waiting time at a drive-through store.

SOLUTION: A merchandise selling method performed by a computer 1 that can communicate with a user information terminal 3 and the information terminal 2 of a fast food store, provides a user with a merchandise menu of the fast food store, receives user information and a merchandise purchase request including designated fast food store information and merchandise information from the user, notifies the designated fast food store of the user information and the merchandise information, and performs charge settlement processing for collecting a charge for the purchased merchandise from the user who has placed the reservation order at the time of receiving the notice of merchandise handling over completion from the designated fast food store.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C): 1998.2003 Japan Patent Office

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-189789

(P2002-189789A)

(43) 公開日 平成14年7月5日 (2002.7.5)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード(参考)
G 0 6 F 17/60	1 2 0 3 3 2	G 0 6 F 17/60	1 2 0 3 E 0 4 2 3 3 2
G 0 7 G 1/12	3 6 1	G 0 7 G 1/12	3 6 1 C

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2000-388936 (P2000-388936)

(22) 出願日 平成12年12月21日 (2000. 12. 21)

(71) 出願人 000004260

株式会社デンソー

愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地

(72) 発明者 板本 高浩

愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地 株式会
社デンソー内

(74) 代理人 100100022

弁理士 伊藤 洋二 (外2名)

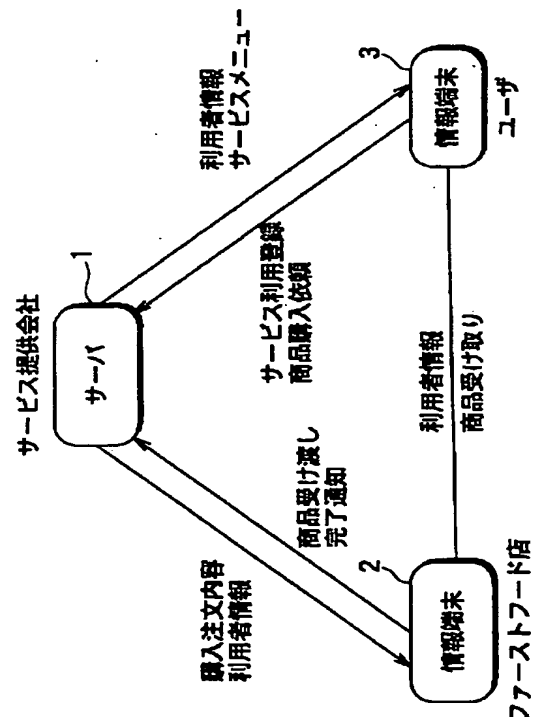
Fターム(参考) 3E042 AA10 BA20

(54) 【発明の名称】 ドライブスルーを利用した商品の販売方法

(57) 【要約】

【課題】 ドライブスルーでの待ち時間を大幅に短縮できるようにする。

【解決手段】 ユーザの情報端末3およびファーストフード店の情報端末2と通信が可能なコンピュータ1によって実行される商品販売方法であって、ユーザにファーストフード店の商品メニューを提供し、利用者から、利用者情報と指定ファーストフード店情報と商品情報を含む商品購入依頼を受け付け、指定ファーストフード店に利用者情報と商品情報を通知し、指定ファーストフード店から商品受け渡し完了の通知を受けると、予約注文したユーザから購入商品の料金を徴収するための料金決済処理を行う。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 利用者の情報端末およびファーストフード店の情報端末と通信が可能なコンピュータによって実行される商品販売方法であって、

利用者にファーストフード店の商品メニューを提供し、利用者から、利用者情報と指定ファーストフード店情報と指定ファーストフード店でドライブスルーにより購入する商品の商品情報を含む商品購入依頼を受け付け、前記指定ファーストフード店情報に基づいて指定されたファーストフード店に前記利用者情報と前記商品情報を通知し、

前記指定されたファーストフード店から商品受け渡し完了の通知を受けると、前記利用者から購入商品の料金を徴収するための料金決済処理を行うことを特徴とする、ドライブスルーを利用した商品の販売方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ファーストフード店でドライブスルーを利用して商品を販売する場合の商品販売方法に関する。

【0002】

【従来の技術および発明が解決しようとする課題】従来、ファーストフード店のドライブスルーを利用する場合、利用者が店に到着後、メニューを確認して商品を注文し、その注文後、調理時間を待って商品の受け渡しが行われるため、商品の購入に長い時間を要していた。

【0003】また、車載トランスポンダを使用しキャッシュレスで商品の受け渡しを行うことも提案されているが、このものでは現金の受け渡しに要する時間が短縮されるだけで、最も時間がかかる、注文する商品の決定およびその商品の調理時間については短縮されず、ドライブスルーでの待ち時間の短縮という点ではまだ効果が少ない。

【0004】本発明は上記問題に鑑みたもので、ドライブスルーでの待ち時間をより短くすることができる商品販売方法を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、請求項1に記載の発明では、利用者の情報端末およびファーストフード店の情報端末と通信が可能なコンピュータによって実行される商品販売方法であって、利用者にファーストフード店の商品メニューを提供し、利用者から、利用者情報と指定ファーストフード店情報と指定ファーストフード店でドライブスルーにより購入する商品の商品情報を含む商品購入依頼を受け付け、前記指定ファーストフード店情報に基づいて指定されたファーストフード店に前記利用者情報と前記商品情報を通知し、前記指定されたファーストフード店から商品受け渡し完了の通知を受けると、前記利用者から購入商品の料金を徴収するための料金決済処理を行うことを特徴とし

ている。

【0006】この商品販売方法によれば、ユーザは、所望のファーストフード店に商品を予約注文することができ、そのファーストフード店に到着したときにドライブスルーで直ぐに商品を受け取ることができ、また料金も自動徴収されるため、ドライブスルーでの待ち時間を大幅に短縮することができる。

【0007】

【発明の実施の形態】図1に、本発明の一実施形態における、ドライブスルーを利用した商品販売システムの全体構成を示す。

【0008】図1に示すように、商品販売システムは、サービス提供会社のコンピュータ（サーバ）1とファーストフード店の情報端末2と利用者（ユーザ）の情報端末3とからなり、サービス提供会社のサーバ1がファーストフード店の情報端末2および利用者（ユーザ）の情報端末3と通信ネットワーク等によってそれぞれ相互に通信できるようになっている。ユーザの情報端末3は、車両に搭載された車載端末であって、サービス提供会社のサーバ1とは携帯電話等の無線通信手段を用いて通信を行う。なお、サービス提供会社のサーバ1は、複数のファーストフード店の情報端末2および複数のユーザの情報端末3とそれぞれ相互に通信を行うようになっている。

【0009】サービス提供会社のサーバ1には、商品販売方法を実行するためのプログラムを記憶した記録媒体がインストールされており、そのプログラムに従って以下に説明する商品販売方法が実行される。

【0010】まず、ユーザは、この商品販売システムを利用するにあたって、サービス提供会社にサービス利用の登録を行う。この場合、ユーザは、情報端末3を用いてサービス提供会社のサーバ1と通信を行い、サービス提供会社のサーバ1にサービス利用登録依頼を送信する。

【0011】サービス提供会社のサーバ1は、図2に示すサービス利用登録処理を実行し、ユーザの情報端末3からサービス利用登録依頼が送信されたことを判定（ステップ101でYESと判定）すると、サービス利用者の登録を行う（ステップ102）。ユーザからのサービス利用登録依頼の中には、料金決済方法（例えば、銀行自動引き落とし、クレジットカードによる引き落とし）が含まれており、そのユーザに対して設定する利用者情報（ID等の利用者番号）と料金決済方法を記憶手段に登録する。この登録後、ユーザの情報端末3に利用者情報を送信する（ステップ103）とともに、サーバ1に記憶されている各ファーストフード店のサービスメニュー（商品メニュー）を送信する（ステップ104）。送信された利用者情報およびサービスメニューは、ユーザの情報端末3にダウンロードされる。

【0012】また、サービス提供会社のサーバ1は、図

3

3に示すサービスメニュー更新処理を実行し、いずれかのファーストフード店の情報端末2からサービスメニューの更新が送信されたことを判定(ステップ201でYESと判定)すると、登録したユーザに、更新したサービスメニューを配信する(ステップ202)。このことにより、ユーザは最新のサービスメニューを取得することができる。

【0013】次に、ユーザによる商品の購入について説明する。

【0014】ユーザは、情報端末3にダウンロードされた各ファーストフード店のサービスメニューから、利用を考えているファーストフード店のメニューを確認し、購入商品を選択し、サービス提供会社のサーバ1に商品購入依頼を送信する。この商品購入依頼には、利用者情報と指定ファーストフード店情報と購入する商品の注文内容を示す商品情報を含んでいる。

【0015】サービス提供会社のサーバ1は、図4に示す発注処理を実行し、ユーザの情報端末3から商品購入依頼が送信されたことを判定(ステップ301でYESと判定)すると、その商品購入依頼に含まれる利用者情報を登録した利用者情報と照合し、登録した利用者であるか否かを判定する(ステップ302)。登録した利用者である場合には、指定ファーストフード店情報にて指定されたファーストフード店の情報端末2に、利用者情報と商品情報を送信する(ステップ303)。

【0016】指定先のファーストフード店は、送信された利用者情報と商品情報を受け取ると、予約注文として商品の調理を開始する。

【0017】その後、ユーザがそのファーストフード店に到着し、利用者情報を提示することで、予約注文した商品を受け取る。ファーストフード店は、商品の受け渡し完了すると、情報端末2から商品受け渡し完了通知をサービス提供会社のサーバ1に送信する。この商品受け渡し完了通知の中には、利用者情報と商品の料金を示す情報が含まれている。

【0018】サービス提供会社のサーバ1は、図5に示す決済処理を実行し、商品受け渡し完了通知を受けたことを判定(ステップ401でYESと判定)すると、利用者情報とともに登録されている料金決済方法(銀行自

4

動引き落とし、クレジットカードによる引き落としなど)に従って、料金の決済処理を行う(ステップ402)。

【0019】以上述べた商品販売方法によれば、ユーザは、自動車で移動中にファーストフード店のドライブスルーを利用しようと考えた場合、所望のファーストフード店に商品を予約注文することができるため、そのファーストフード店に到着したときにドライブスルーで直ぐに商品を受け取ることができ、商品の購入に要する待ち時間を短くすることができる。また、料金も自動引き落としとしているため、一層、待ち時間を短くすることができる。このように商品の購入に要する待ち時間を大幅に短縮できるため、ドライブスルーでの渋滞を解消することができる。

【0020】なお、上記した実施形態では、予めサービスメニューをユーザの情報端末3にダウンロードしておくものを示したが、ユーザが商品を購入する前にサービスメニューをサービス提供会社のサーバ1からダウンロードするようにしてもよい。

【0021】また、上記した実施形態では、サービス提供会社が商品販売方法を実施するものを示したが、そのサービス提供会社をクレジットカード会社が行うようにすれば、料金の決済をよりスムーズに行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】ドライブスルーを利用した商品販売システムの全体構成を示す図である。

【図2】サービス提供会社のサーバ1が実行するサービス利用登録処理を示すフローチャートである。

【図3】サービス提供会社のサーバ1が実行するサービスメニュー更新処理を示すフローチャートである。

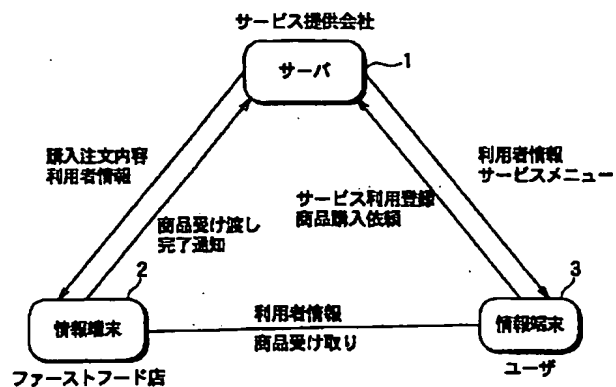
【図4】サービス提供会社のサーバ1が実行する発注処理を示すフローチャートである。

【図5】サービス提供会社のサーバ1が実行する決済処理を示すフローチャートである。

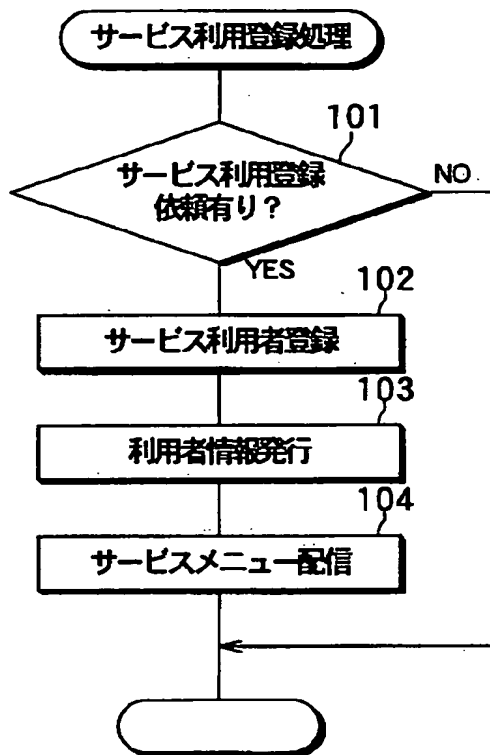
【符号の説明】

1…サービス提供会社のサーバ、2…ファーストフード店の情報端末、3…ユーザの情報端末。

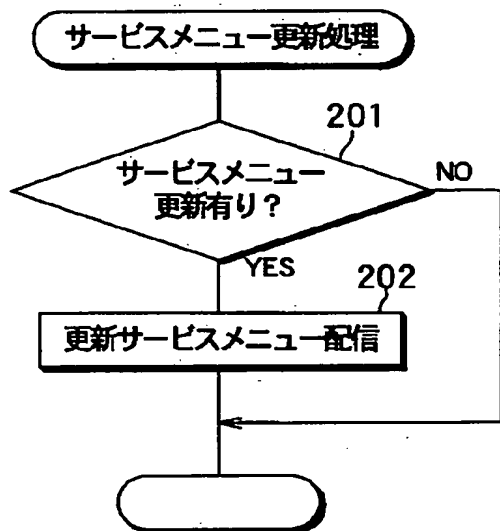
【図 1】



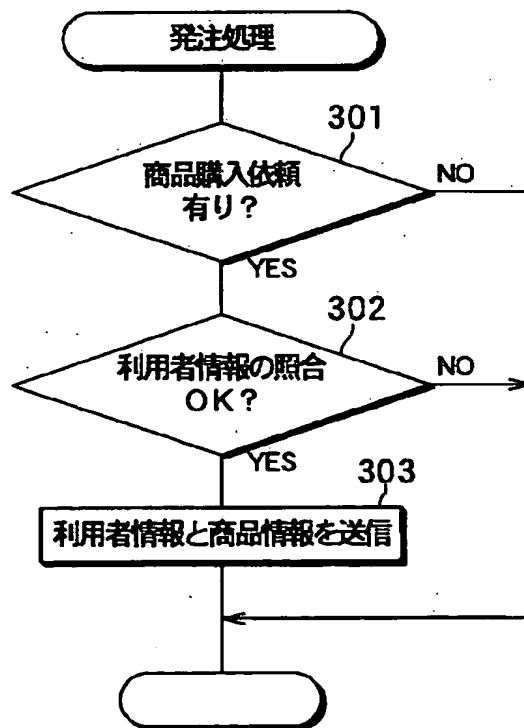
【図 2】



【図 3】



【図 4】



【図5】

